

熊本地震におけるサンダーバードの対応

4月14日（木） 地震発生

○2016年4月14日 21時26分頃 熊本地震

震度7 [熊本県]益城町

震度6弱 [熊本県]熊本東区, 熊本西区, 熊本南区, 玉名市, 宇城市, 西原村

震度5強 [熊本県]熊本中央区, 熊本北区, 菊池市, 宇土市, 合志市, 熊本美里町,
大津町, 菊陽町, 御船町, 山都町, 氷川町

●会員安否確認 ⇒ 震度5強以上の地域の会員なし

○2016年4月14日 22時7分頃

震度6弱 [熊本県]益城町

震度5強 [熊本県]熊本東区, 西原村

●会員安否確認 ⇒ 震度5強以上の地域の会員なし

●情報収集開始（支部, 会員, 関係者等）

4月15日（金） 鹿兒島支部を指令本部として支援調整を開始

○2016年4月15日 0時3分頃

震度6強 [熊本県]宇城市

震度6弱 [熊本県]熊本南区, 氷川町

震度5強 [熊本県]熊本西区, 八代市, 宇土市, 熊本美里町, 西原村, 御船町, 嘉島町

●会員安否確認 ⇒ 震度5強以上の地域の会員なし

●熊本県健康福祉政策課（DCAT担当部署）に電話 ⇒ 不通 ⇒ メール ⇒ 返信なし
県庁関係者より「県庁内でも情報が集約できていない状態」との情報が入る

●鹿兒島支部を「熊本地震サンダーバード指令本部」とする。法人本部と連携して支援調整を開始。大災害のため、会員を優先しながら、会員に限定しない支援を行うことを確認。支部には、情報収集と人的支援の準備を依頼。

●鹿兒島支部の先遣隊が被災地に入って情報収集を開始（5/2まで現地で活動継続。以降は電話による情報収集へ移行） ⇒ 「高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉に関する支援の要否については、社会福祉協議会が取りまとめた上で判断する」状況であることを確認 ⇒ サンダーバードは行政や社会福祉協議会の動きを待たず、支援の必要な場所の情報を集め対応しておくことを確認。

4月16日（土）

○2016年4月16日 1時25分頃

震度7 [熊本県]西原村, 益城町

震度6強 [熊本県]南阿蘇村, 熊本中央区, 熊本東区, 熊本西区, 菊池市, 宇土市,
宇城市, 合志市, 大津町, 嘉島町

震度6弱 [熊本県]阿蘇市, 熊本南区, 熊本北区, 八代市, 玉名市, 熊本美里町,
和水町, 菊陽町, 御船町, 山都町, 氷川町, 上天草市, 天草市
[大分県]別府市, 由布市

震度5強 [福岡県]久留米市, 柳川市, 大川市, みやま市
[佐賀県]佐賀市, 神埼市, 上峰町
[長崎県]南島原市

<p>[熊本県]南小国町, 熊本小国町, 産山村, 熊本高森町, 山鹿市, 玉東町, 長洲町, 甲佐町, 芦北町</p> <p>[大分県]豊後大野市, 日田市, 竹田市, 九重町</p> <p>[宮崎県]椎葉村, 宮崎美郷町, 高千穂町</p> <p style="text-align: right;">※ 会員あり</p>
<p>○2016年4月16日 1時45分頃</p> <p>震度6弱 [熊本県]熊本東区, 合志市, 菊陽町</p> <p>震度5強 [熊本県]玉名市, 菊池市, 和水町, 大津町, 嘉島町</p>
<p>○2016年4月16日 3時3分頃</p> <p>震度5強 [熊本県]阿蘇市, 南阿蘇村</p>
<p>○2016年4月16日 3時55分頃</p> <p>震度6強 [熊本県]産山村</p> <p>震度5強 [熊本県]阿蘇市, 南阿蘇村</p>
<p>○2016年4月16日 9時48分頃</p> <p>震度6弱 [熊本県]菊池市</p>
<p>●会員安否確認 震度5強(福岡県久留米市, 熊本県山鹿市)の地域の会員に安否確認 ⇒ 現時点では支援の必要がないことを確認。支援が必要になった場合は、支援の準備があることを伝える。</p>
<p>●会員連絡 各所で揺れが観測されていることから、会員メーリングリストで注意を促す。併せて情報提供も呼びかける。</p>
<p>●社会福祉法人典人会より情報提供</p> <p>支援先候補として、老人総合福祉施設グリーンヒルみふね(上益城郡御船町)の情報提供がある。連携して支援にあたることを確認。</p>
<p>●鹿児島支部先遣隊による情報収集 ⇒ 「熊本県DCATは認知が進んでいないことから支援要請がなく具体的な活動をしていない」「老人総合福祉施設グリーンヒルみふねは、福祉避難所としての受け入れ数も、動けるスタッフの数も、物的支援や人的支援の必要性についても整理できていないが、専門職の支援が必要な状況」を確認 ⇒ 鹿児島支部より人的支援を行うことを確認。</p>
<p>●山口支部が物資拠点となるよう依頼(道路状況の変化に対応するため)。</p>
<p>4月17日(日)</p>
<p>●元会員より情報提供</p> <p>支援先候補として、南阿蘇ケアサービスの情報提供がある。</p>
<p>●南阿蘇ケアサービスに電話 ⇒ 「支援者ができるだけ早く欲しい。東日本大震災の際の介護保険の状況を知りたい」 ⇒ 社会福祉法人典人会に情報提供。19日より人的支援を行う方向で調整。介護保険については野田理事が電話で対応。</p>
<p>4月18日(月)</p>
<p>○2016年4月18日 20時41分頃</p> <p>震度5強 [熊本県]阿蘇市, 産山村</p> <p>[大分県]竹田市</p>
<p>●会員安否確認 … 震度5強以上の地域の会員なし</p>
<p>○2016年4月19日 17時52分頃</p> <p>震度5強 [熊本県]八代市</p>

●会員安否確認 … 震度5強以上の地域の会員なし
●社会福祉法人全国重症心身障害児（者）を守る会より、被災地の障害児に物資を届けたいので、配送をお願いしたいという依頼あり ⇒ 搬送を調整
4月19日（火）
●社会福祉法人典人会が南阿蘇ケアサービスの支援を開始。 社会福祉士（1）介護福祉士（2）介護員（1）看護師（1） 物的支援も併せて実施
●老人総合福祉施設グリーンヒルみふね（上益城郡御船町）に物的支援。 水1400ℓ、米280kg、割箸4200膳、ウェットティッシュ14000枚、サランラップ1400m、 紙コップ2800個、紙皿2800個、体拭くウェットティッシュ（お尻拭きで可）4200枚
4月20日（水）
●鹿児島支部が三船町で支援を開始（5/2まで活動継続）。被災地の福祉事業所を訪問し、人的支援の必要な場所を確認。必要に応じて物的支援を実施。
●老人総合福祉施設グリーンヒルみふね（上益城郡御船町）に物的支援。 水600ℓ
●仮設住宅サポート拠点の設置のために、厚生労働省、国土交通省、熊本県への提案書「熊本地震における福祉の視点にたった支援のあり方について」を作成
4月21日（木）
●全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会より連携した支援の申し出あり ⇒ 調整 5日×1名×9回（新潟支部、宮城支部 他）
●会員及び関係者に人的支援を呼びかけ
●厚生労働省に「熊本地震における福祉の視点にたった支援のあり方について」を提出
●国土交通省に「熊本地震における福祉の視点にたった支援のあり方について」を提出
●社会福祉法人全国重症心身障害児（者）を守る会の物資を搬送 オムツ・尿とりパッド（10箱）食料品（3箱）飲料水（20箱）その他（2箱）
●社会福祉法人桜の丘（上益城郡甲佐町）に物的支援。 オムツ、日用物資等
●鹿児島支部より報告 グループホーム（甲佐町） 生鮮食品等の不足物資。サンダーバード鹿児島支部より鹿児島県グループホーム協会へ要請、4月23日（土）に支援物資を届ける予定。 グリーンヒルみふね（御船町） スタッフの疲弊により人的支援を要する。サンダーバード鹿児島支部スタッフにより施設入所者へのリハビリを実施。 社会福祉法人（甲佐町） 150人程度の入所者があり、オムツ等介護用品の物資が不足しているため、鹿児島支部を通して発注。4月21日（木）に一部届いている。
4月22日（金）
●朝日新聞と新潟日報に寄附募集記事の掲載を依頼
4月23日（土）
●物流回復まで、熊本市東区（益城町から約10分）にサンダーバードの一次集積場所を確保致。
●グループホーム、福祉避難所へ物的支援。

生鮮食料品リフト車 4 台, カップ麺約 (50 食), 紙皿・紙コップ (約 1,000 個), オムツ等
●鹿児島支部が老人総合福祉施設グリーンヒルみふね (上益城郡御船町) に人的支援 (リハビリ, 介護) 開始 (5/2 まで活動継続) PT (1) OT (1)
●高知支部が南阿蘇村 (拠点: 南阿蘇ケアサービス) で人的支援を開始 (4/26 まで活動継続)。 医師 (1) 看護師 (2) PT (1) OT (1) 事務スタッフ (1)
4 月 24 日 (日)
●福祉避難所へ物資支援。 オムツ 300 枚, 飲用水 200×10, 飲用水 20L×10
●小規模多機能型居宅介護事業所あんず (益城町) へ人的支援
4 月 25 日 (月)
●新潟支部による人的支援 全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会による派遣要請に対応 (5/20 まで継続実施)
4 月 27 日 (水)
●ケア付き仮設の設置のために、厚生労働省、国土交通省、熊本県への提案書「熊本地震における福祉の視点にたった支援のあり方について (追加提案)」を作成
●厚生労働省に熊本地震における福祉の視点にたった支援のあり方について (追加提案) を提出
●国土交通省に「熊本地震における福祉の視点にたった支援のあり方について (追加提案)」を提出
●厚生労働省訪問 サポート拠点の設置, ケア付き仮設の建設のお願い
●鹿児島支部による南阿蘇村の状況確認。(物的支援、人的支援の要否) 物的支援も併せて実施
4 月 28 日 (木)
●熊本県庁、熊本県社会福祉協議会訪問 熊本県健康福祉部長寿社会局長、健康福祉政策課参事、国土交通省職員等にサポート拠点の設置, ケア付き仮設の必要性, 福祉避難所における介護福祉士の派遣等を提案
●益城町への人的支援 (機械浴の入浴介助) の要請あり ⇒ 鹿児島支部が 29 日より支援に入るよう調整
4 月 29 日 (金)
●鹿児島支部による人的支援 (5/2 まで活動継続) [福祉避難所] 特別養護老人ホーム いこいの里 介護福祉士 (2) による入浴介助
4 月 30 日 (土)
●鹿児島支部が支援者のためのレンタカー手配
5 月 1 日 (日)
●宮城支部, 山口支部による人的支援 南阿蘇 (5/6 まで継続実施) 介護士 (2)
●南阿蘇ボランティアセンターより支援依頼 (支援先: サンアンドムーン (有料老人ホーム&デイ) 支援内容: 介護業務 (夜間勤務中心 21:00~翌 7:00) 支援期間: 当面 5 月末まで 支援人数: 介護職員もしくは看護職員 1 名~2 名) ⇒ 調整済
5 月 3 日 (火)
●鹿児島支部の一次派遣終了 指令本部としての活動は継続

5月6日(金)
●宮城支部, 静岡支部による人的支援 南阿蘇 (5/11 まで継続実施) 看護師(3)
●養護老人ホーム花へんろ (AKAI 花へんろ) より支援依頼
5月10日(火)
●鹿児島支部が養護老人ホーム花へんろ (AKAI 花へんろ) の状況確認 ⇒ 支部会で支援検討
5月11日(水)
●広島支部による人的支援 南阿蘇 (5/31 まで継続実施) 介護士(2)×4
5月12日(木)
●支部会 今後の支援について検討 現地の状況に併せ、2名単位の人的支援を継続的に実施 仮設住宅期の支援の調整を実施
現地の状況に併せ、2名単位の人的支援(医療・福祉の専門職)を継続して実施している。 併せて、仮設住宅期の支援のための調整を行っている。